

稲作だより

第 9 号
穂 肥 編

令和4年7月1日発行
山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト
最上地域本部
最上総合支庁農業技術普及課
Tel 29-1329（稲作担当）

圃場間で生育差大きいが、葉色は濃い！ 中干しを徹底！適期に穂肥を行える稲姿に！

- 10 葉期以降の遅発分けつは、無効分けつ、登熟の悪い弱勢の穂になりやすく、登熟の不良に繋がります。中干しを始めていない圃場は速やかに開始しましょう！
- 生育診断を行ったうえで、適期に適量の穂肥を施用しましょう。
- 曇天や降雨が続く予報です。いもち病の発生に注意しましょう。

◎品種ごとの穂肥のポイント

「はえぬき」10.4 葉期（7月10日頃）に生育診断
茎数 700 本/m²以下・SPAD 値 40 以下であれば、
出穂 25 日前、窒素成分 2.0kg/10a を上限に施用します。

「つや姫」10 葉期（7月10日頃）に生育診断
茎数 600 本/m²以下・SPAD 値 39 以下であれば、
出穂 30 日前、窒素成分 1.5kg/10a の穂肥を施用します。
茎数が多い圃場・葉色が濃い圃場は施用量を減らしましょう。

「雪若丸」9.5 葉期（7月2日頃）に生育診断
茎数 750 本/m²以下・SPAD 値 44 以下であれば、
出穂 25 日前、窒素成分 1.5kg/10a の穂肥を施用します。
生育が不足している場合は施用時期を早めます。

葉色が濃い場合は減肥対応とし、時期を遅らせてずに施用しましょう！

※その他の品種に関する穂肥診断の基準は別途お問い合わせください

◎品種別施肥基準

品種名	施肥基準 (N/10a)	
	時期	施用量
あきたこまち	出穂 20 日前	2.0kg
ひとめぼれ	出穂 20 日前	1.5kg
雪若丸	出穂 25 日前	1.5kg
はえぬき	出穂 25 日前	2.0kg
つや姫	出穂 30 日前	1.5kg
コシヒカリ	出穂 18~15 日前	1~1.5kg

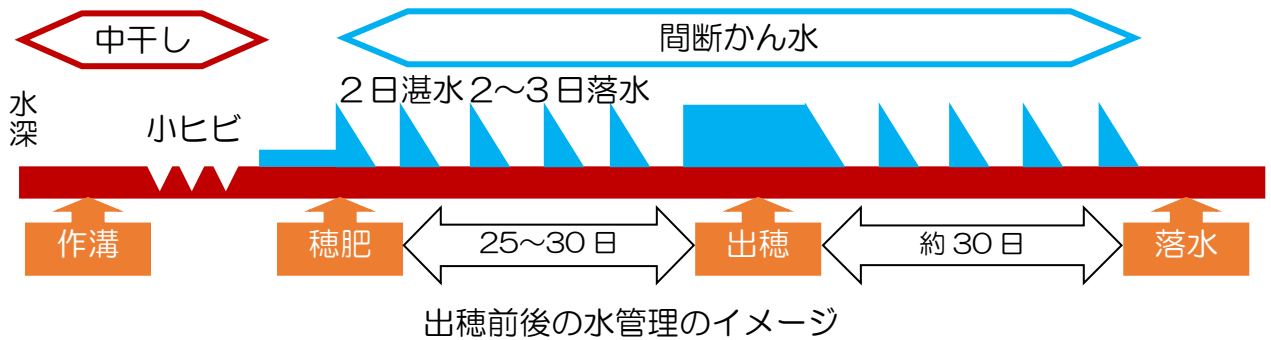
今年度の出穂予想は、「あきたこまち」（最上町向町）で平年並～やや遅い予測となっています。
なお、出穂予測は今後の天候や地域間差により前後する場合があります。ご注意ください。

◎生育診断圃の生育状況（6月30日現在）

品種	年次	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉数 枚	葉色 SPAD	品種	年次	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉数 枚	葉色 SPAD
はえぬき 新庄市泉田	本年	48.2	547	9.3	47.8	つや姫 舟形町富田	本年	53.2	668	9.3	45.0
	前年	41.6	644	9.0	45.3		前年	51.1	549	9.7	37.4
	平年	41.7	648	8.9	44.1		平年	46.4	580	9.3	42.4
	平年比	116	84	+0.4	+3.7		平年比	115	115	±0.0	+2.6
雪若丸 新庄市泉田	本年	39.1	699	9.2	49.7	あきたこまち 最上町高野	本年	44.6	451	9.2	48.2
	前年	39.5	714	9.1	47.3		前年	45.1	663	9.9	46.0
	指標	41.0	590	9.3	43.0		平年	43.5	607	9.3	46.4
	指標比	95	118	-0.1	+6.7		平年比	103	74	-0.1	+1.8

◎出穂前後の水管理

中干し期間終了後は飽水管理（足跡に水が残る程度）とし、徐々に間断かん水に移行します。出穂期は最も水を必要とするため、水深2～5cmの湛水管理を行います。なお、台風やフェーンによる強風が予想される場合は事前に湛水して稲を守りましょう。

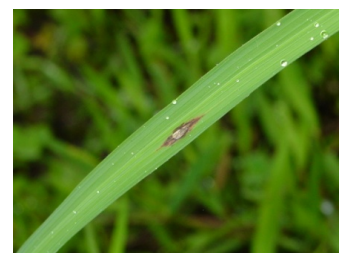


冷害に遭遇しやすい山間部等では、前歴深水管理（幼穂形成期の深水）を積極的に実施しましょう。出穂25日前頃から10cm程度の深水にして、耐冷性を高めます。出穂14～7日前頃に17℃以下の低温が予想される場合は、15cm以上の深水管理を徹底し、不稔発生を抑制しましょう。

◎いもち病の発生に注意！

次の場所では特に注意を払い、早期発見・防除に努めましょう。

- ①色が濃く生育過剰なところ
- ②朝露の切れが遅いところ
- ③風がよどむところ



葉いもちの病斑

わずかでも病斑が確認された場合は、直ちに治療効果の高い薬剤で防除しましょう。

◎斑点米カメムシ類は「やや多い」予報！草刈りの徹底を！

斑点米カメムシ類の発生密度を減らすため、次の対応を行いましょう。

- ① 畦畔・農道の草刈りを徹底する。
- ② 水田内の除草対策（特にノビエ、イヌホタルイ等）を徹底する。
- ③ 休耕田などで雑草が繁茂しているところは、耕起する。

7/22～25 は草刈強化期間です！